







mFOLFOX6+アービタックス®（2週毎）

◆ 点滴に使用する薬と点滴時間

- 初回：4時間20分+46時間
- 2回目以降：3時間20分+46時間

フルオロウラシル①を終了後、インフューザーポンプに調製したフルオロウラシル②につなぎ、46時間点滴を行います。

- 外来ではインフューザーポンプを持ち帰るため、病院での点滴時間は初回は4時間20分、2回目以降は3時間20分です。腫瘍センターの看護師が、自宅で針を抜く方法をお伝えします。

使用する薬	外観	点滴時間	1日目
吐き気止め アロキシ®、デカドロン®		15分	●
過敏症予防 ポララミン®			
アービタックス® 500 mg/m ²		初回：2時間 2回目以降： 1時間	●
レボホリナート 200 mg/m ²		2時間 (同時に点滴します)	●
オキサリプラチン 85 mg/m ²			
フルオロウラシル① 400 mg/m ²		5分	●
フルオロウラシル② 2400 mg/m ²	 インフューザー ポンプ	46時間	●

- 薬の量は、副作用の程度などにより変更されることがあります。
- 点滴時間はあくまで目安であり、時間が前後することがあります。

◆ スケジュール

14日間を1コースとして治療を繰り返します。

◆ 飲み合わせについて

- フルオロウラシルは、下記の薬を投与中および中止後7日以内は、**一緒に使用してはいけません**。一緒に使用した場合、白血球減少、下痢、口内炎などの副作用が強くあらわれるおそれがあります。

商品名（先発名）	一般名
ティーエスワン®	テガフル・ギメラシル・オテラシル

- フルオロウラシルは、**上記以外にも、併用に注意が必要な薬があります**。薬局やドラッグストアで購入した薬も含め、担当の医師や薬剤師に飲み合わせを確認してもらいましょう。

◆ 主な副作用

白血球減少

白血球が減少すると免疫力が低下し、風邪などの感染症にかかりやすくなります。

治療開始1～2週間後に白血球の値が最も低くなり、その後1～2週間かけて回復します。

うがい・手洗いなどの感染予防を心がけましょう。

37.5度を超える発熱時、医師からあらかじめ処方された薬がない方は、病院へご連絡ください。

赤血球減少

貧血になり、めまい、だるさ、動悸、息切れなどの症状があらわれます。治療開始2～4週間頃に低くなります。

必要に応じて、薬で治療したり輸血することがあります。

血小板減少

血液が固まりにくくなり、歯茎からの出血や鼻血が出やすくなります。治療開始1～2週間後に血小板の値が最も低くなり、その後1～2週間かけて回復します。

転倒やケガに注意してください。

必要に応じて、輸血することがあります。

【血液検査について】

副作用の確認のために、定期的な血液検査を行います。

皮膚障害

アービタックス®により、にきびのような発疹、かゆみ、乾燥、爪の周りの炎症などの皮膚障害が現れることがあります。

副作用の詳細や、対策方法、生活上の注意点については、別冊のパンフレットをご参照ください。

◆ 点滴中

下記の赤字の症状があるときは、すぐに医療スタッフへお声かけください。

過敏反応（アレルギー）

寒気、吐き気、頭痛、めまい、発疹、息苦しい

治療開始1～2回目が起きやすいですが、治療を繰り返していても現れることがあります。

血管外漏出

点滴が漏れている、針を刺したところが痛い、熱っぽい、赤く腫れている、違和感がある

◆ 点滴終了後～1週間頃

吐き気・嘔吐・食欲不振

必要に合わせて、吐き気止めでしっかりと予防を行っています。
それでも症状がある場合は、吐き気止めを追加で使用することがあります。水分が摂れないほど吐き気・嘔吐がひどい場合は、ご連絡ください。

便秘

お腹の動きが悪くなり、便が固くなったりお腹がはることがあります。食事や水分摂取、適度な運動でも改善しない場合、下剤を使用します。

末梢神経障害（手や足、のどのしびれ）

急性と蓄積性の末梢神経障害があります。

（急性）点滴時に毎回起こり、冷たいものに触れるとしびれが悪化する特徴があるため、点滴後5日間程度は注意が必要です。

（蓄積性）治療を長く続けると少しずつ悪化し、しびれや痛みが持続するようになります。治療を終えても回復に時間がかかります。

手先をうまく使えずボタンがかけづらい、転倒しやすいなど、日常生活に支障が出る前に、診察時、医師に相談してください。

発疹

皮膚が赤くなる、かゆみが出ることがあります。

刺激の少ない肌着を着用しましょう。塗り薬やかゆみ止めの内服薬を使用することがあります。

治療開始後数日以内に全身に発疹やかゆみが出る、目の粘膜や唇がただれる、発熱を伴う場合などはすぐに病院へ連絡してください。

倦怠感（だるさ）

疲れやすい、気力がない、体が重いなどの症状で、日常生活に支障が出る場合は、診察時に主治医へご相談ください。

◆ 1～2週間頃

下痢

普段より1日4回以上多く排便がある、または1回でも水のような便があるときは、**下痢止めを使用**することがあります。

強い腹痛や発熱を伴う場合、医師から処方された下痢止めで改善しない場合は、ご連絡ください。

口内炎

口の中がヒリヒリする、しみる、痛くなることがあります。

歯みがきやうがいで口の中を清潔に保ち、**乾燥を防ぐことが大切**です。また**うがい薬や塗り薬**を使用することがあります。

がまんできない、水分もとれないほどの口の中の痛みがある場合は、病院へご連絡ください。

◆ 2～3週間頃

脱毛

薬の種類によって抜けやすさは異なりますが、1～2か月後にはかなり目立つようになります。

髪の毛以外（まゆ毛、まつ毛など）全身の体毛も同様に抜けます。

治療が終了すると、少しずつですが生えてきます。

◆ 蓄積性の副作用

味覚障害

味を感じにくくなる、塩味を強く感じる、金属味がする、まずく感じるなど味覚に異常が出る場合があります。

色素沈着

皮膚に日焼けのようなしみができる、爪が黒ずむ

◆ 検査でわかる副作用

低マグネシウム血症

血中の電解質マグネシウムが低下することがあります。マグネシウムが低下すると、食欲が低下する、脱力感、しびれやふるえなどの症状が出る場合があります。

定期的な血液検査を行い、低い場合は点滴でマグネシウムを補充することがあります。

● その他の副作用

非常にまれな副作用ですが、万が一赤字の症状がある場合は、すぐに病院へご連絡ください。

間質性肺炎

たんが絡まない乾いた咳、息苦しい、発熱

肝機能障害

定期的な血液検査を行います。

白目や皮膚が黄色くなる（黄疸）、ひどいだるさ

◆ 緊急時の連絡方法

困ったことがあったときは、下記にご連絡ください。

気持ち悪くて水分も摂れない
下痢が止まらない
37.5℃以上の発熱が続いている
薬の使用方法がわからない

など



診察券を用意する

代表：044-977-8111 に電話をかける

平日：8:30-17:00
土曜日：8:30-12:30

腫瘍センター
ナースステーション

夜間帯・休診日
など左記以外の時間

各診療科の当直医

◆ 予約外受診の方法

病院本館正面玄関に入って右手の
「②再診受付」または「予約外受付機」で手続きした後、
各診療科の外来でお待ちください。

※受付時間：平日8:30-11:30 土曜日8:30-11:00

- 生活上の注意については、別冊のパンフレットもご参照ください。
- ご不明な点がある場合は、遠慮なく医療スタッフにお尋ねください。

薬剤師